

ユニセフ講演会「インド農村の暮らしー変わるものと変わらないものー」

“遅れる農業の近代化” “粗末な公立学校の環境”

2016年10月15日 奈良女子大学共催 講師 浅田晴久 奈良女子大学 准教授



2016年10月15日、奈良県ユニセフ協会と奈良女子大学の共催によるユニセフ講演会が、奈良女子大学において開催されました。

講師の浅田晴久准教授は、インド東部とバングラデシュを対象地域として、自然環境と村落社会の関係についてフィールドワークを通して研究。豊富な映像で“インド農村の今”が報告されました。

講演要旨 社会は分断構造【カースト・民族、都市/村落】

インドは近年目覚ましい経済発展を遂げているが、その恩恵は一部の地域や国民に限られており、大多数の国民の生活は貧しいままである。



乳幼児向けの配給物資

講演ではインド国内でも最も経済的に立ち遅れているインド北東部のアッサム州を事例として、変化する現代インドの中で一般市民が何を考え、どのように行動に移しているのか、ないしは変わらずにいるのかを報告する。

アッサム州の大きな特徴として、インド他地域では数少ないモンゴロイド系の住民が多数を占め、文化的にも肉食を好むなどヒンドゥー教の伝統と相容れないものが根付いていることが挙げられる。

それゆえ飛び地のように「インド本土」から切り離されたこの地



村の公立学校の教室

域では、物理的に距離が遠いだけでなく心理的にも冷遇されてきたのである。後進地域であるにもかかわらず、地元の政治家や行政官は出身カースト・民族の代表者に過ぎないため、

社会全体のことを考えて行動に移す者は少ない。地域社会は住民個別のアイデンティティによって分断されており、社会に対する説明責任を果たす者がいない状態が続いているのである。

裕福な子は条件の良い私立学校へ

そのような意識は村の生活にも表れている。たとえば公立学校では生徒だけでなく教員さえ時間通り学校に来ないということが多々あり、社会のために尽くそうという意識は低い。

そのような中、村内で経済的に余裕がある家は子どもを条件の良い私立学校に行かせることで子どもに将来の夢を託している。勉強して良い学歴を得ることは村の子どもにとって唯一の希望であるが、大卒の条件は就職競争のスタートラインに立つことに過ぎず、努力しても正規職に就ける者は一握りである。

一方、村では日雇労働や配給制度など最低限のサービスを受けることもでき、決して経済的には豊かでないものの余裕がある生活を送っている人がいることも事実である。国の経済発展に参加するために保証されていない夢に向かって努力するのか、それとも従来どおり貧しいながらも最低限保証されている村の生活を受け入れるのか、村人たちに選択肢が突きつけられている。(浅田晴久准教授 筆)



学校給食の調理現場

募金協力(学校・その他団体) 2016年7月~12月 ご支援ありがとうございました!

奈良県協会お預かり分 (本部への直接振込分を除く:敬称略)

榛生昇陽高校、今西清兵衛商店、陶房・風
奈良教育大学付属中学校、南加茂台シルバークラブ
奈良女子大学附属小学校、檀原ロイヤルホテル
育英西中学校・高等学校育西会
一条高校・三笠中学校・大宮小学校
クラブツーリズム奈良旅行センター
あすか法律事務所、崇徳寺



※学校内募金等の贈呈式にお伺いいたします。ご連絡ください。

山藤専務理事に日本ユニセフ協会から感謝状

2016年11月に県ユニセフ協会の役員を退任された山藤エリザベス専務理事に、日本ユニセフ協会(赤松良子会長)から、永年の功績に対して感謝状が贈呈されました。

山藤エリザベス専務理事には1982年から今日までの35年間、奈良県におけるユニセフ活動に多大なご尽力を頂きました。感謝申し上げますとともに、厚くお礼申し上げます!

2016年8月～2016年12月 活動報告

2016年9月18日 春日大社式年造替 奉納

ルー大柴さん、手洗いダンスで

手洗いの大切さを伝える

「世界手洗いの日プロジェクト」

2016 年秋、春日大社第 60 次式年造替を祝って開催された春



©日本ユニセフ協会

県協会ボランティアもステージ
でダンスの手本を踊った

日野音楽祭。その初日の 9 月 18 日
に日本ユニセフ協会の「世界手洗いの
日プロジェクト」のイベントが奈良
公園の登大路園地において行われ
ました。

「ツギャザーでダンス！」タレン

トのルー大柴さんが登場し、ルー語を交えながら正しい手洗いの
仕方を楽しく覚えられる「世界手洗いダンス」を披露。奈良県ユ
ニセフ協会のボランティアもステージで
ダンスの手本を踊って、正しい手洗いの
大切さと手洗いのコツを伝えました。

あいにくの雨模様でしたが、集まった
多くの子どもたちやお父さんお母さんた
ちと一緒に、春日大社の権禰宜さんも加
わってみんなで楽しく笑顔で手洗いダンスを踊りました。

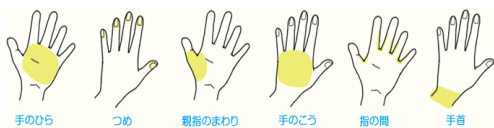


©日本ユニセフ協会

ステージを降りて子どもたち
と踊るルー大柴さん

日本ユニセフ協会では、手洗いで必要な手の 6 か所を楽しく覚

©日本ユニセフ協会



えられる「世界

手洗いダンス」

をつくり、子ど

もたちに“正し

い手洗い”を広めるとともに、世界の子どもたちの状況や衛生の
問題などを伝えています。



©日本ユニセフ協会

せっけんを使って正しく手を洗うことができれば、年
間 100 万人もの子供の命が守られ、また下痢によって学
校を休まなければいけない子供たちが大幅に減ります。

自分の体を病気から守る最もシンプルな方法が、せっ
けんを使った手洗いです。正しい手洗いを広めるため
に、国際衛生年であった 2008 年に、毎年 10 月 15 日
が「世界手洗いの日」（Global Handwashing Day）と
定められました。

2016 年 12 月 23 日

第 38 回 ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金

「栄養不良から小さな命を守ろう」

ご支援をありがとうございました！

奈良県ユニセフ協会では 2016 年 12 月 23 日、近鉄奈良駅
前をはじめ大和西大寺駅前・生駒駅前・大和八木駅前そして JR
王寺駅前の 5 か所において、ハンド・イン・ハンド募金を行
いました。当日、まつぼっくり少年少女合唱団の子どもたち、奈
良大学付属高校生徒会の皆さん、
県立榛生昇陽高校人間探究コース
の皆さんが、それぞれ奈良駅前、
大和西大寺駅前、大和八木駅前
でボランティアとして参加、元気に
募金を呼び掛けていただきました。



高校生たちと一緒に募金
を呼び掛けてくれました

ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金は、1979 年の国際児童
年に始まりました。事前に登録すれば誰もがユニセフボラン
ティアとして参加することができます。これまで日本中のボラン
ティア一人一人の想いを届けてきたハンド・イン・ハンド募金
も 38 回を迎えました。今回も寺院やガールスカウトの皆さん
たちに大勢参加していただきました。

2016 年 12 月 12 日～16 日

奈良市役所

で開催しました

ユニセフ・パネル展「ユニセフってなあに」

市役所に来られた市民の皆さまに、ユニセフの主な活動について、
保健・水と衛生・栄養・教育・緊急支援・女性への支援などのテーマ別に、
わかりやすくまとめて紹介しました。



奈良市役所の連絡通路に
ユニセフ活動のパネルを展示し
市民の皆さまに見ていただきました

学校・団体紹介(ユニークな活動への取り組みを紹介します)

奈良中学生サッカーフェスティバル

全国から160チーム参加(2016年 第39回大会)

「大会記念Tシャツ」売り上げの一部を募金

— 10年前からユニセフ支援 —



募金の贈呈

奈良中学生サッカーフェスティバル(橋本肇実行委員長)は、クラブチームや学校チームから「世界で活躍できる、また将来の日本を支えるサッカー選手や人材」を育てることを目指し、奈良県内中学校、総合公園および健民グラウンド等の会場において、毎年3月に開催されています。2016年は全国から160チーム(奈良県外138チーム、県内22チーム)が参加、多くの中学生サッカー選手が熱戦を繰り広げました。

『世界中の子どもたちがサッカーを出来る環境に』『サッカーというスポーツが子どもたちにとって世界に目を向ける「心の窓」となってもらいたい』との願いから、10年前よりユニセフへの募金がスタートしました。活動の趣旨について、多くの参加チームの理解・協力を得て、毎年作成する大会記念Tシャツの売り上げの一部を募金として、ユニセフ活動にご協力いただいています。 

「大会記念Tシャツ」の売り上げの一部を募金

ご協力、ありがとうございました!

2016年7月~2016年12月までの間、奈良県ユニセフ協会にお寄せいただいた募金総額は、

¥ 1,096,734.- にのぼりました。

皆さまの温かいご支援に心よりお礼を申し上げます。

※振込用紙の通信欄に「県協会コード K1-290」と記入してお振り込みいただいた分を含みます。
※募金総額は速報値です。



今年の第40回大会は、3月18日(土)~19日(日)、26日(日)~31日(金)の8日間にわたり、奈良県内各地で開催されます。

中学生という多感な時期の子どもたちに、サッカーを通してユニセフ活動や世界の情勢を知っていただける素晴らしい取り組みです。この大会を通して、支援の輪が大きく全国に広がっていくことを願っています。

佐保ゴルフ倶楽部

年2回 チャリティーゴルフ大会を開催

「ワン・オン・チャレンジ」の参加費を
ユニセフや震災支援の募金へ



2015年から毎年春と秋の年2回チャリティーゴルフ大会を開催し、ユニセフをはじめ震災被害地にも募金をされている佐保ゴルフ倶楽部(奈良市奈保町)。きっかけは「ゴルフを通して何か社会貢献させていただけないだろうか」という会社の想いから、とのこと。



募金の贈呈

全米プロゴルフ協会(USPGA)では、難病患者への支援の募金などプロゴルファーによる社会貢献がよく行われています。佐保ゴルフ倶楽部でも“USPGAのAnything possible”精神への共感から、チャリティーゴルフ大会を始められました。

コンペ参加者に趣旨を説明し、「ワン・オン・チャレンジ」に挑戦していただきます。皆さまのご協力のもと、ユニセフ募金に賛同いただいた多くの方々参加費がユニセフに届けられます。参加者の皆さまの「思い」への感謝の気持ちと、そして社会貢献として、佐保ゴルフ倶楽部も募金にご協力いただいています。



佐保ゴルフ倶楽部

佐保ゴルフ倶楽部のゴルフ大会(フルトリゴルフ杯)は、カード登録者へ案内して毎回約80名が参加。順位を競うだけでなく、少しでも社会の役に立って「ホッコリ」とした気持ちになってほしいとのことでした。

— 出前学習会を行いませんか —

奈良県ユニセフ協会ではスタッフが学校を訪問して学習を行う、出前学習(講師派遣)を行っています。

映像や体験などを取り入れ、「今、世界でどんなことが起きているのか」「世界の子どもたちはどんな生活をしているのか」を学びます。(事務所までお問い合わせください。)

※ DVD教材の貸し出しも行っています

出前学習会の進め方

- ① 出前学習会の打ち合わせ (約1か月前)
日程調整、プログラム、配布資料
体験学習(水がめ運び、蚊帳つり等)
- ② 会場・教室の下見 (約1週間前)
プロジェクター等の作動・映写確認
- ③ 出前学習会の開催 (当日)



蚊帳つりを体験

ボランティア募集

奈良県ユニセフ協会では、下記の活動を手伝っていただけるボランティアを募集しています。

学生の方も大歓迎です。

世界の子どもたちの現状、ユニセフやボランティア活動に関心をお持ちの方、私たちと一緒に楽しく活動を始めませんか。

お気軽に事務所までお問い合わせください。

- ◆ 募金活動
- ◆ イベント参加
- ◆ ユニセフ学習会講師
- ◆ 機関紙発行
- ◆ 事務所でのお手伝い



外国コイン募金

旅行や出張で海外に行ったことがある方なら、余ったコインや紙幣がお手元に残っていませんか？

一部の国の紙幣を除けば、外国通貨は日本では両替することができません。記念品やおみやげにするのも楽しいですが、余ったコインを世界の子どもたちのために役立ててみてはいかがでしょうか。



日本ユニセフ協会では民間企業5社の協力をいただき、こうしたコインを海外に輸送することでユニセフの活動資金にする「ユニセフ外国コイン募金」を行っています。

ご協力をお願いいたします。

- * 奈良県ユニセフ協会事務所へご持参ください。
- * 普通郵便や宅配便で奈良県ユニセフ協会事務所へお送りください。（送料はご負担願います。）



あなたの身近に、
眠っている外国コイン
ありませんか？

賛助会員募集

日本ユニセフ協会の趣旨に賛同してくださる会員を募集しています。

賛助会員とは、日本ユニセフ協会と奈良県ユニセフ協会の運営を、年会費によってご支援いただく方法です。

種類	対象	賛助会費	賛助会員期間
一般賛助会員	個人の方	1口5千円	入会月～1年間
学生賛助会員	18歳以上の学生の方	1口2千円	入会月～1年間
団体賛助会員	団体・法人・企業	1口10万円	入会月～1年間

- * 一般・学生賛助会員は、個人名でのお申し込みに限ります。
- * 賛助会費は寄付金控除の対象になります。
- * 会員期間は入会月から一年毎の更新となります。
- * 賛助会費は、1口以上何口でもご協力いただけます。

編集後記

紛争や無差別テロ行為による殺戮が今も行われており、また地震等災害の発生が、人々に命の危険や恐怖感を植え付けています。特に子どもたちへの惨状が各地で報道されており、成長や生活レベルの低下は計り知れず、将来への不安を増長させています。

県ユニセフ協会では、講演会・写真パネル展・出前学習会のほか、各種イベントや募金活動等の機会をとらえ、子どもたちの健やかな成長を目指し、広く皆さまに支援の必要性を訴え、ご協力をお願いしております。

今後とも、皆さまのご理解ご協力をお願いいたします。(M.K.)



※ 鹿のイラストはすべて、ボランティア大西好美さんの作品です。



奈良県ユニセフ協会

〒630-8214

奈良県奈良市東向町2-1-1 松山ビル3階

TEL : 0742-25-3005 / FAX : 0742-25-3008

E-mail : unicef-n@m4.kcn.ne.jp

ホームページ : <http://www.unicef-nara.jp/>

※事務所開所日 : 月・火・水・木 11:00～16:00

募金して頂ける方、ユニセフDVD等の資料をご入用の方、ユニセフ支援ギフトにご協力いただける方など、お気軽にお越しください。

